

## 用語説明 (Google のジェミニ (Gemini) による回答)

### Canva (キャンバ) とは?

Canva は、誰でも簡単にデザインを作成できるオンライングラフィックデザインツールです。2013 年にオーストラリアで設立され、現在では世界 1 億人以上が利用しています。

### 主な機能

- **豊富なテンプレートと素材:** 61 万点ものテンプレートと、1 億点の素材 (写真、動画、イラスト、音楽) が用意されています。ポスター、プレゼンテーション、SNS 投稿、ロゴ、Web サイトなど、様々なデザインを簡単に作成することができます。
- **直感的な操作:** ドラッグ&ドロップで操作できるので、専門知識がなくても簡単にデザインを作成することができます。
- **無料プランと有料プラン:** 基本的な機能は無料で利用できますが、有料プランではさらに多くのテンプレートや素材を利用することができます。チームでの利用や商用利用に適した機能も提供されています。

### Canva でできること

- ポスター、チラシ、パンフレットなどの印刷物
- プレゼンテーション資料
- SNS 投稿
- ブログ記事のアイキャッチ画像
- Web サイトのバナー
- ロゴ
- 動画
- その他、アイデア次第で様々なデザインを作成することができます

### Canva のメリット

- 誰でも簡単にデザインを作成できる
- 豊富なテンプレートと素材がある
- 無料プランでも十分利用できる
- パソコン、スマートフォン、タブレットで利用できる
- 日本語を含む多言語に対応している

### Canva のデメリット

- 高度なデザイン機能は有料プランでしか利用できない

- テンプレートや素材によっては、商用利用できないものがある
- デザインセンスは必要

#### Canva の利用料金

- **Canva 無料プラン**: 基本的な機能を無料で利用できます。
- **Canva Pro**: 月額 999 円 (年間プラン 9,990 円) で、全ての機能を利用できます。
- **Canva for Teams**: チームで利用できるプランです。月額 1,999 円 (年間プラン 19,990 円) から利用できます。
- **Canva for Enterprise**: エンタープライズ向けのプランです。詳しくは Canva の営業担当にお問い合わせください。

#### Canva の公式サイト

<https://www.canva.com/learn/a-step-by-step-guide-to-designing-from-scratch/>

**Canva の使い方** Canva の公式サイトには、Canva の使い方を解説したチュートリアルや記事が豊富に用意されています。また、YouTube などの動画配信サービスでも、Canva の使い方を解説した動画がたくさんあります。

**Canva の活用事例** Canva は、個人事業主、中小企業、教育機関、NPO など、様々な組織で利用されています。具体的には、以下のような活用事例があります。

- ポスターやチラシなどの印刷物を作成する
- プレゼンテーション資料を作成する
- SNS 投稿を作成する
- ブログ記事のアイキャッチ画像を作成する
- Web サイトのバナーを作成する
- ロゴを作成する
- 動画を作成する
- オンライン教材を作成する
- イベントの告知用デザインを作成する

Canva は、デザイン初心者から上級者まで、幅広いユーザーに利用されている人気のグラフィックデザインツールです。豊富なテンプレートと素材、直感的な操作、無料プランなど、Canva には多くのメリットがあります。デザインをもっと身近に、もっと簡単にしたいと考えている方は、ぜひ Canva を試してみてください。

## Google Apps Script (GAS) とは？

GAS (Google Apps Script) は、Google が提供するプログラミング言語です。JavaScript をベースとした言語で、Google の各種サービスを自動化したり、拡張したりすることができます。

### GAS の特徴

- **Google サービスと連携しやすい:** Gmail、Google スプレッドシート、Google ドライブ、Google カレンダーなど、様々な Google サービスと連携することができます。
- **コードがシンプル:** JavaScript をベースとした言語なので、比較的習得しやすいです。
- **ブラウザ上で動作:** インストール不要で、ブラウザ上で動作します。
- **無料:** 基本的な機能は無料で利用できます。

### GAS でできること

- **Google サービスの自動化:** 例えば、Gmail で受信したメールを自動的にフォルダに振り分けたり、Google スプレッドシートのデータに基づいて自動的にメールを送信したりすることができます。
- **Google サービスの拡張:** 例えば、Google フォームに回答があった際に、自動的に Google スプレッドシートにデータを追加したり、Google カレンダーに予定を登録したりすることができます。
- **Web アプリケーションの開発:** GAS を使って、Web アプリケーションを開発することもできます。

### GAS のメリット

- **Google サービスと連携しやすい:** Google サービスをよく利用する人にとって、GAS は非常に便利なツールです。
- **コードがシンプル:** JavaScript をベースとした言語なので、比較的習得しやすいです。
- **ブラウザ上で動作:** インストール不要で、ブラウザ上で動作します。
- **無料:** 基本的な機能は無料で利用できます。

### GAS のデメリット

- **高度な機能は有料プランでしか利用できない:** 高度な機能を利用するには、有料プランに加入する必要があります。
- **プログラミング知識が必要:** ある程度のプログラミング知識が必要となります。
- **動作が遅い場合がある:** 複雑なスクリプトを実行すると、動作が遅くなる場合があります。

### GAS の利用料金

- **GAS 無料プラン:** 基本的な機能を無料で利用できます。
- **GAS Workspace Essentials:** 月額 8 ドルで、高度な機能を利用できます。
- **GAS Workspace Enterprise:** 月額 15 ドルで、GAS Workspace Essentials の機能に加え、さらに多くの機能を利用できます。

## GAS の公式サイト

<https://developers.google.com/apps-script>

## GAS の使い方

GAS の公式サイトには、GAS の使い方を解説したチュートリアルや記事が豊富に用意されています。また、YouTube などの動画配信サービスでも、GAS の使い方を解説した動画がたくさんあります。

## GAS の活用事例

GAS は、個人事業主、中小企業、教育機関、NPO など、様々な組織で利用されています。具体的には、以下のような活用事例があります。

- **業務の自動化:** 例えば、注文書の作成、請求書の発行、顧客情報の管理などを自動化することができます。
- **データ分析:** 例えば、Google スプレッドシートのデータを分析して、レポートを作成することができます。
- **Web アプリケーションの開発:** 例えば、顧客管理システム、在庫管理システム、予約システムなどを開発することができます。

GAS は、Google サービスをもっと活用したい人、業務を効率化したい人、プログラミングを学びたい人におすすめのツールです。

以下は、GAS に関する参考資料です。

- **Google Apps Script チュートリアル:** <https://developers.google.com/apps-script>
- **GAS に関するブログ記事:** <https://note.com/erukiti/n/n5c0d54132819>
- **GAS に関する書籍:** <https://www.amazon.co.jp/Google-Apps-Script%E5%AE%8C%E5%85%A8%E5%85%A5%E9%96%80-%EF%BD%9EGoogle-Suite%E3%81%AE%E6%9C%80%E6%96%B0%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%9F%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%EF%BD%9E-ebook/dp/B07BNB1Z9L>

## Classi（クラッシー）とは？

Classi（クラッシー）は、学校教育の ICT 活用を支援するクラウドサービスです。2014 年にベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合併会社である Classi 株式会社によって設立されました。

### Classi の主な機能

- **授業配信:** 教員は、Classi を使って、動画や資料、課題などを生徒に配信することができます。
- **学習記録:** 生徒は、Classi を使って、学習記録や課題の提出を行うことができます。
- **コミュニケーション:** 教員、生徒、保護者は、Classi を使って、メッセージのやり取りを行うことができます。
- **その他:** 出欠管理、成績管理、校内行事の管理など、様々な機能が提供されています。

### Classi のメリット

- **授業の効率化:** 教員は、Classi を使って、授業を効率化することができます。例えば、動画や資料を事前に配信しておけば、授業中に説明する時間を短縮することができます。
- **学習効果の向上:** 生徒は、Classi を使って、いつでもどこでも学習することができます。また、学習記録や課題の提出をオンラインで行うことで、学習意欲を高めることができます。
- **保護者の参画促進:** 保護者は、Classi を使って、子どもの学習状況を確認することができます。また、教員とメッセージのやり取りを行うこともできます。

### Classi のデメリット

- **インターネット環境が必要:** Classi を利用するには、インターネット環境が必要です。
- **教員の負担増加:** 教員は、Classi を利用するために、新たな作業が増える場合があります。
- **デジタルデバイド:** インターネット環境や機器に格差がある場合、すべての生徒が Classi を平等に利用できない場合があります。

### Classi の利用料金

Classi は、**学校単位で利用**するサービスです。利用料金は、学校規模や利用する機能によって異なります。詳しくは、Classi の公式サイトをご覧ください。

### Classi の公式サイト

- <https://classi.jp/>

### Classi の活用事例

Classi は、全国の多くの学校で活用されています。具体的な活用事例としては、以下のようなものがあります。

- **反転授業:** 教員は、Classi を使って、動画や資料を事前に配信し、授業中に生徒にアクティブラーニングを行うことができます。
- **個別指導:** 教員は、Classi を使って、生徒一人ひとりに合わせた指導を行うことができます。
- **家庭学習:** 生徒は、Classi を使って、自宅で学習することができます。
- **校内行事:** 学校は、Classi を使って、校内行事の情報を配信したり、参加者を募集したりすることができます。

**Classi は、学校教育の ICT 化を推進する上で、非常に有効なツールです。Classi を導入することで、授業の効率化、学習効果の向上、保護者の参画促進などが期待できます。**

**何か質問があれば、遠慮なく聞いてください。**

## Romancer クラスルームとは？

Romancer クラスルームは、ボイジャー株式会社が提供する、学校向けの電子出版物制作・共有サービスです。2023年11月にリリースされました。

### Romancer クラスルームの主な機能

- **生徒の作品を電子書籍として簡単に作成・共有**：生徒は、Romancer を使って、レポート、論文、小説、詩、イラストなどの作品を電子書籍として作成することができます。作成した電子書籍は、クラス内で共有したり、保護者に公開したりすることができます。
- **クラス単位での作品管理**：教員は、クラス単位で生徒の作品を管理することができます。また、作品にコメントや評価をつけることもできます。
- **学習指導に役立つ機能**：Romancer クラスルームには、学習指導に役立つ機能がいくつか用意されています。例えば、**グループワーク機能**や**振り返り機能**などがあります。
- **G Suite との連携**：Romancer クラスルームは、G Suite と連携することができます。G Suite で作成したドキュメントやスライドショーを、Romancer クラスルームで電子書籍として変換することができます。

### Romancer クラスルームのメリット

- **誰でも簡単に電子書籍を作成できる**：Romancer は、**専門知識がなくても誰でも簡単に電子書籍を作成することができます。**
- **クラス内で作品を共有できる**：生徒は、作成した作品をクラス内で共有することができます。互いの作品を参考にしたり、意見交換したりすることができます。
- **学習指導に役立つ**：Romancer クラスルームには、学習指導に役立つ機能がいくつか用意されています。教員は、これらの機能を活用して、効果的な授業を行うことができます。
- **G Suite と連携できる**：Romancer クラスルームは、G Suite と連携することができます。G Suite で作成したドキュメントやスライドショーを、Romancer クラスルームで電子書籍として変換することができます。

### Romancer クラスルームのデメリット

- **無料プランでは利用できる機能が限られている**：無料プランでは、利用できる機能が限られています。全ての機能を利用するには、有料プランに加入する必要があります。
- **インターネット環境が必要**：Romancer クラスルームを利用するには、インターネット環境が必要です。

### Romancer クラスルームの利用料金

Romancer クラスルームは、**学校単位で利用**するサービスです。利用料金は、学校規模や利用する機能によって異なります。詳しくは、Romancer クラスルームの公式サイトをご覧ください。

#### Romancer クラスルームの公式サイト

- <https://romancer.voyager.co.jp/news/>
- <https://www.voyager.co.jp/>

#### Romancer クラスルームの活用事例

Romancer クラスルームは、全国の多くの学校で活用されています。具体的な活用事例としては、以下のようなものがあります。

- **レポート作成**: 生徒は、Romancer を使って、レポートを作成することができます。作成したレポートは、教員に提出したり、クラス内で共有したりすることができます。
- **論文作成**: 生徒は、Romancer を使って、論文を作成することができます。作成した論文は、コンテストに出品したり、研究発表会で発表したりすることができます。
- **小説・詩の創作**: 生徒は、Romancer を使って、小説や詩を創作することができます。作成した作品は、クラス内で共有したり、文学賞に応募したりすることができます。
- **イラスト作品集の作成**: 生徒は、Romancer を使って、イラスト作品集を作成することができます。作成した作品集は、クラス内で共有したり、文化祭で展示したりすることができます。

Romancer クラスルームは、**児童生徒の創作活動を支援し、表現力を高めるのに役立つツール**です。

Romancer クラスルームを導入することで、より創造的で主体的な学習を実現することができます。

LibrariE (ライブラリエ) とは? インターネット上で本を借りて、PC やスマートフォン等で読むことができる電子図書館サービスです。大学や公共図書館などが導入しており、利用には ID とパスワードが必要となります。

### 主な機能

- **豊富な蔵書:** 約 20 万冊の電子書籍を閲覧することができます。
- **ジャンルが豊富:** 文学、ビジネス、歴史、科学、IT など、幅広いジャンルの本を読むことができます。
- **同時に3冊まで借りられる:** 一度に3冊まで本を借りることができます。
- **オフラインで読める:** ダウンロードした本は、オフラインで読むことができます。
- **しおり機能、検索機能、全文検索機能**など、便利な機能が充実しています。

### 利用方法

LibrariE を利用するには、まず利用している大学や公共図書館のホームページから利用登録する必要があります。利用登録が完了したら、ID とパスワードを使って LibrariE にログインすることができます。

ログイン後、以下の操作を行うことができます。

- **蔵書を検索:** タイトル、著者名、キーワードなどで蔵書を検索することができます。
- **本を借りる:** 検索結果から読みたい本を選び、「借りる」ボタンをクリックします。
- **借りた本を読む:** 借りた本は、ブラウザで読むことができます。また、専用アプリを使って読むこともできます。
- **予約する:** すでに借りられている本や、まだ公開されていない本を予約することができます。
- **借りた本を返す:** 借りた本は、期限までに返却する必要があります。

### LibrariE のメリット

- **場所や時間に関係なく読書を楽しむ:** インターネット環境があれば、いつでもどこでも読書を楽しむことができます。
- **豊富な蔵書から好きな本を選べる:** 約 20 万冊の電子書籍から、好きな本を選ぶことができます。
- **一度に3冊まで借りられる:** 一度に3冊まで本を借りることができるので、たくさん読書したい人におすすめです。

- **オフラインで読める:** ダウンロードした本は、オフラインで読むことができますので、インターネット環境がない場所でも読書を楽しむことができます。
- **便利な機能が充実している:** しおり機能、検索機能、全文検索機能など、便利な機能が充実しています。

### LibrariEのデメリット

- **一部の蔵書は閲覧できない:** すべての蔵書が電子書籍化されているわけではなく、一部の蔵書は閲覧できない場合があります。
- **インターネット環境が必要:** LibrariEを利用するには、インターネット環境が必要です。
- **印刷できない:** 借りた本を印刷することはできません。

### LibrariEの利用料金

LibrariEの利用料金は、**利用している大学や公共図書館によって異なります**。詳しくは、利用している大学や公共図書館のホームページでご確認ください。

### LibrariEの公式サイト

LibrariEには、公式サイトはありません。**利用している大学や公共図書館のホームページから利用することになります**。

### LibrariEの活用事例

LibrariEは、学生、社会人、読書家など、幅広い層に利用されています。具体的には、以下のような活用事例があります。

- **課題図書の見学:** 学生は、LibrariEを使って、課題図書を見学することができます。
- **通勤・通学時間の読書:** 社会人は、通勤・通学時間の読書にLibrariEを利用しています。
- **新しいジャンルの本との出会い:** 読書家は、LibrariEを使って、新しいジャンルの本と出会っています。

LibrariEは、読書をもっと身近に、もっと自由にしたいと考えている人におすすめの電子図書館サービスです。

何か質問があれば、遠慮なく聞いてください。

## LibFinder（ライブファインダー）とは？

\*\*LibFinder（ライブファインダー）は、株式会社ソフテックが提供する蔵書検索システム（OPAC）

\*\*です。図書館の蔵書をインターネット上で簡単に検索することができます。

### 主な機能

- **高速な検索機能：**タイトル、著者名、キーワードなどで蔵書を高速に検索することができます。
- **詳細な検索条件：**出版年、分類、書架場所などの詳細な条件で検索することができます。
- **検索結果の絞り込み：**検索結果を、種類別、出版年別、分類別などに絞り込むことができます。
- **新着図書・おすすめ図書の表示：**新着図書やおすすめ図書を一覧で表示することができます。
- **利用状況の確認：**蔵書の利用状況（貸出中、予約中など）を確認することができます。
- **マイリストの作成：**読みたい本をマイリストに登録することができます。
- **メールによる予約・取り置き：**メールで予約・取り置きをすることができます。
- **スマートフォンアプリ：**スマートフォンアプリを使って、蔵書検索や利用状況確認を行うことができます。

### LibFinder のメリット

- **誰でも簡単に蔵書を検索できる：**インターネット環境があれば、誰でも簡単に蔵書を検索することができます。
- **詳細な検索条件で希望の本を見つけやすい：**詳細な検索条件で検索できるので、希望の本を見つけやすいです。
- **新着図書やおすすめ図書を簡単に見つけられる：**新着図書やおすすめ図書を一覧で表示できるので、新しい本との出会いや読書のヒントを得ることができます。
- **利用状況を簡単に確認できる：**蔵書の利用状況を簡単に確認できるので、借りたい本が貸出中かどうかすぐにわかります。
- **マイリストで読みたい本を管理できる：**読みたい本をマイリストに登録しておけば、後でまとめて検索することができます。
- **メールで予約・取り置きができる：**メールで予約・取り置きができるので、わざわざ図書館に行く必要がありません。

- **スマートフォンアプリでどこでも利用できる:** スマートフォンアプリを使って、蔵書検索や利用状況確認をどこでも行うことができます。

#### LibFinder のデメリット

- **インターネット環境が必要:** LibFinder を利用するには、インターネット環境が必要です。
- **一部の図書館では利用できない:** すべての図書館で LibFinder が導入されているわけではなく、一部の図書館では利用できない場合があります。

#### LibFinder の利用料金

LibFinder は、**図書館が導入するサービス**です。利用料金は、**図書館によって異なります**。詳しくは、利用している図書館にお問い合わせください。

#### LibFinder の公式サイト

- <https://user.libmax.com/>

#### LibFinder の活用事例

LibFinder は、全国の多くの図書館で導入されています。具体的な活用事例としては、以下のようなものがあります。

- **利用者が目的の本をすぐに見つけ出す:** 利用者は、LibFinder を使って、目的の本をすぐに見つけ出すことができます。
- **図書館の利用促進:** LibFinder を導入することで、図書館の利用を促進することができます。
- **図書館業務の効率化:** LibFinder を導入することで、図書館業務を効率化することができます。

LibFinder は、**図書館の利用をより便利で快適にする蔵書検索システム**です。LibFinder を導入することで、利用者はより簡単に目的の本を見つけ出すことができ、図書館は利用促進と業務効率化を図ることができます。

何か質問があれば、遠慮なく聞いてください。

## カーリルとは？

カーリルは、株式会社カーリルが運営する全国の図書館の蔵書を横断検索できるサービスです。

2010年に公開され、現在では約7,400館の図書館が参加しています。

### カーリルの特徴

- **全国の図書館の蔵書を横断検索できる**：カーリルを使えば、全国約7,400館の図書館の蔵書を横断検索することができます。自宅の近くの図書館だけでなく、遠くの図書館の蔵書も検索できます。
- **リアルタイムの貸出状況を確認できる**：カーリルでは、リアルタイムの貸出状況を確認することができます。借りたい本が貸出中かどうかすぐにわかります。
- **予約・取り置きができる**：カーリルでは、一部の図書館で予約・取り置きをすることができます。わざわざ図書館に行く必要がありません。
- **書評やレビューを読むことができる**：カーリルでは、書評やレビューを読むことができます。本の内容を知る手がかりになります。
- **関連資料を検索できる**：カーリルでは、検索した本に関連する資料を検索することができます。より深く学習したい場合に役立ちます。
- **スマートフォンアプリがある**：カーリルには、スマートフォンアプリがあります。外出先でも蔵書検索や利用状況確認を行うことができます。

### カーリルのメリット

- **全国の図書館の蔵書を簡単に検索できる**：カーリルを使えば、全国の図書館の蔵書を簡単に検索することができます。自宅の近くの図書館だけでなく、遠くの図書館の蔵書も検索できます。
- **リアルタイムの貸出状況を確認できる**：カーリルでは、リアルタイムの貸出状況を確認することができます。借りたい本が貸出中かどうかすぐにわかります。
- **予約・取り置きができる**：カーリルでは、一部の図書館で予約・取り置きをすることができます。わざわざ図書館に行く必要がありません。

- **書評やレビューを読むことができる:** カーリルでは、書評やレビューを読むことができます。本の内容を知る手がかりになります。
- **関連資料を検索できる:** カーリルでは、検索した本に関連する資料を検索することができます。より深く学習したい場合に役立ちます。
- **スマートフォンアプリがある:** カーリルには、スマートフォンアプリがあります。外出先でも蔵書検索や利用状況確認を行うことができます。

### カーリルのデメリット

- **一部の図書館では利用できない:** すべての図書館がカーリルに参加しているわけではありません。
- **インターネット環境が必要:** カーリルを利用するには、インターネット環境が必要です。

**カーリルの利用料金**     カーリルは無料で利用できます。

**カーリルの公式サイト**     <https://www.youtube.com/@Caliljp/videos>

### カーリルの使い方

カーリルの公式サイトでは、カーリルの使い方を解説したチュートリアルや記事が豊富に用意されています。また、YouTubeなどの動画配信サービスでも、カーリルの使い方を解説した動画がたくさんあります。

**カーリルの活用事例**     カーリルは、学生、社会人、読書家など、幅広い層に利用されています。具体的には、以下のような活用事例があります。

- **課題図書を検索:** 学生は、カーリルを使って、課題図書を検索することができます。
- **読書の計画:** 読書家は、カーリルを使って、読書の計画を立てることができます。
- **新しい本との出会い:** カーリルは、新しい本との出会いを提供します。

。

**LibraryThing とは？** LibraryThing は、個人で所有する書籍、映画、音楽などのコレクションをオンラインでカタログ化し、管理できるソーシャルネットワークサービスです。2005 年にアメリカで公開され、現在では世界中から約 100 万人が利用しています。

### LibraryThing の特徴

- **無料で利用できる:** LibraryThing は、無料で利用できます。
- **日本語を含む多言語に対応:** LibraryThing は、日本語を含む 20 以上の言語に対応しています。
- **豊富な機能:** LibraryThing は、書籍、映画、音楽などのコレクションをカタログ化し、管理するだけでなく、以下のような様々な機能を提供しています。
  - **読書記録の管理:** 読んだ本を記録したり、読書目標を設定したりすることができます。
  - **レビューの投稿:** 読んだ本についてレビューを投稿することができます。
  - **他のユーザーとの交流:** 他のユーザーと交流したり、読書会に参加したりすることができます。
  - **関連書籍の検索:** 読んでいる本に関連する書籍を検索することができます。
  - **バーチャル書架の作成:** 自分のコレクションをバーチャル書架として作成することができます。
- **プライバシー設定:** LibraryThing は、プライバシー設定を細かく設定することができます。自分のコレクションを公開するか非公開にするかを選択することができます。

### LibraryThing のメリット

- **無料で利用できる:** LibraryThing は、無料で利用できます。
- **日本語を含む多言語に対応:** LibraryThing は、日本語を含む 20 以上の言語に対応しています。
- **豊富な機能:** LibraryThing は、書籍、映画、音楽などのコレクションをカタログ化し、管理するだけでなく、読書記録の管理、レビューの投稿、他のユーザーとの交流、関連書籍の検索、バーチャル書架の作成など、様々な機能を提供しています。
- **プライバシー設定:** LibraryThing は、プライバシー設定を細かく設定することができます。自分のコレクションを公開するか非公開にするかを選択することができます。

## LibraryThing のデメリット

- **英語の情報が多い:** LibraryThing は、英語の情報が多いです。日本語の情報も徐々に増えていますが、まだ十分ではありません。
- **使い方が少し難しい:** LibraryThing は、使い方が少し難しいです。慣れるまでは、時間がかかるかもしれません。

**LibraryThing の利用料金** LibraryThing は、**無料で利用できます。**

**LibraryThing の公式サイト** <https://www.librarything.com/>

**LibraryThing の使い方** LibraryThing の公式サイトでは、LibraryThing の使い方を解説したチュートリアルや記事が豊富に用意されています。また、YouTube などの動画配信サービスでも、LibraryThing の使い方を解説した動画がたくさんあります。

**LibraryThing の活用事例** LibraryThing は、読書家、映画好き、音楽ファンなど、幅広い層に利用されています。具体的には、以下のような活用事例があります。

- **読書記録の管理:** 読書家は、LibraryThing を使って、読書記録を管理しています。
- **読書会の開催:** LibraryThing を使って、読書会を開催しています。
- **コレクションの整理:** LibraryThing を使って、コレクションを整理しています。
- **新しい作品との出会い:** LibraryThing は、新しい作品との出会いを提供します。

LibraryThing は、自分のコレクションを管理し、読書や映画鑑賞、音楽鑑賞をもっと楽しくしたいと考えている人におすすめのサービスです。

## LibGuides（リブガイド）とは？

LibGuides は、図書館が利用者向けに特定のテーマやトピックに関するガイドを作成・公開できる Web サービスです。2002 年にカナダで開発され、現在では世界中の約 7,000 の図書館で導入されています。

### LibGuides の特徴

- **使いやすいインターフェース:** LibGuides は、使いやすいインターフェースを備えており、専門知識がなくても簡単にガイドを作成・公開することができます。
- **豊富なテンプレート:** LibGuides には、様々なテンプレートが用意されており、目的に合ったガイドを簡単に作成することができます。
- **マルチメディアコンテンツの埋め込み:** LibGuides には、画像、動画、音声などのマルチメディアコンテンツを埋め込むことができます。
- **ソーシャルメディアとの連携:** LibGuides は、ソーシャルメディアと連携して、ガイドを拡散することができます。
- **利用状況の分析:** LibGuides には、利用状況を分析する機能が搭載されており、作成したガイドの利用状況を把握することができます。

### LibGuides のメリット

- **利用者の情報リテラシー向上:** LibGuides は、利用者が必要な情報を効率的に見つけることができるように支援し、情報リテラシー向上に役立ちます。
- **図書館のサービス案内:** LibGuides は、図書館のサービスをわかりやすく案内し、利用促進に役立ちます。
- **教職員の負担軽減:** LibGuides は、教職員が作成した資料をまとめて公開することができるため、教職員の負担軽減に役立ちます。
- **学習支援:** LibGuides は、学生の学習を支援するために、課題や参考文献などの情報を提供することができます。

### LibGuides のデメリット

- **インターネット環境が必要:** LibGuides を利用するには、インターネット環境が必要です。
- **作成に時間がかかる:** LibGuides のガイドを作成するには、ある程度の時間と労力が必要です。
- **日本語の情報が少ない:** LibGuides は、英語の情報が多いです。日本語の情報も徐々に増えていますが、まだ十分ではありません。

## LibGuides の利用料金

LibGuides の利用料金は、提供しているベンダーによって異なります。詳しくは、各ベンダーにお問い合わせください。

## LibGuides の公式サイト

- <https://springshare.com/>

## LibGuides の活用事例

LibGuides は、様々な図書館で活用されています。具体的な活用例としては、以下のようなものがあります。

- **新入生ガイダンス**: 新入生向けに、図書館の利用方法や所蔵資料を紹介するガイドを作成しています。
- **研究テーマガイド**: 特定の研究テーマに関する資料や情報 sources をまとめたガイドを作成しています。
- **学科ガイド**: 特定の学科の学生向けに、必要な資料や情報 sources をまとめたガイドを作成しています。
- **レポート作成ガイド**: レポート作成に必要な資料や情報 sources をまとめたガイドを作成しています。
- **情報リテラシー教育**: 情報リテラシー教育のための教材として、LibGuides のガイドを作成しています。

LibGuides は、図書館のサービスをより便利で効果的に利用できるように支援するツールです。

LibGuides を導入することで、利用者は必要な情報を効率的に見つけることができ、図書館はサービス案内や学習支援をより効果的に行うことができます。

何か質問があれば、遠慮なく聞いてください。

## Linked Data（リンクトデータ）とは？

Linked Data は、Web 上のデータを構造化し、相互にリンクすることで、機械処理が可能な形式で公開する手法です。2006 年にティム・バーナーズ＝リーによって提唱\*\*されました。

### Linked Data の原則

Linked Data は、以下の 4 つの原則に基づいています。

1. **URI を使ってリソースを識別する**：すべてのデータは、\*\*Uniform Resource Identifier (URI) \*\*を使って一意に識別されます。
2. **HTTP を使ってリソースにアクセスする**：すべてのデータは、\*\*Hypertext Transfer Protocol (HTTP) \*\*を使ってアクセスできます。
3. **RDF を使ってデータを表現する**：すべてのデータは、\*\*Resource Description Framework (RDF) \*\*を使って表現されます。
4. **他のデータとリンクする**：すべてのデータは、他の関連データとリンクされます。

### Linked Data のメリット

Linked Data には、以下のようなメリットがあります。

- **データの統合・分析**：Linked Data は、異なるソースのデータを統合・分析し、新たな知見を得ることができます。
- **検索・発見**：Linked Data は、従来のキーワード検索よりも高度な検索・発見機能を提供することができます。
- **アプリケーション開発**：Linked Data は、新しいアプリケーションやサービスの開発を促進することができます。

### Linked Data のデメリット

Linked Data には、以下のようなデメリットがあります。

- **複雑性**：Linked Data は、従来のデータ形式よりも複雑です。
- **データの品質**：Linked Data のデータ品質は、データソースによって異なります。
- **ツール・インフラ**：Linked Data を扱うためのツールやインフラはまだ十分ではない。

### Linked Data の利用例

Linked Data は、様々な分野で利用されています。具体的な利用例としては、以下のようなもの

- **政府**：政府は、Linked Data を使って、統計データや公共サービスに関する情報を公開
- **企業**：企業は、Linked Data を使って、製品情報や顧客データを管理しています。
- **研究機関**：研究機関は、Linked Data を使って、科学データを共有・分析しています。
- **図書館**：図書館は、Linked Data を使って、蔵書データを公開しています。

## Google Classroomとは？

Google Classroomは、Googleが無料で提供する教育向けWebサービスです。2014年に公開され、現在では世界中の1億人以上の教師と生徒が利用しています。

### Google Classroomの機能

- **課題の作成・配布・採点**: 教師は、Google Classroomを使って、課題を作成・配布・採点することができます。
- **ファイル共有**: 教師と生徒は、Google Classroomを使って、ファイルを共有することができます。
- **コミュニケーション**: 教師と生徒は、Google Classroomを使って、メッセージやコメントでコミュニケーションを取ることができます。
- **クラスルーム管理**: 教師は、Google Classroomを使って、クラスルームを管理することができます。

### Google Classroomのメリット

- **無料で利用できる**: Google Classroomは、無料で利用できます。
- **使いやすい**: Google Classroomは、使いやすいインターフェースを備えており、専門知識がなくても簡単に利用することができます。
- **様々な機能**: Google Classroomは、課題の作成・配布・採点、ファイル共有、コミュニケーション、クラスルーム管理など、様々な機能を提供しています。
- **Googleアカウントで利用できる**: Google Classroomは、Googleアカウントがあれば利用できます。

### Google Classroomのデメリット

- **インターネット環境が必要**: Google Classroomを利用するには、インターネット環境が必要です。
- **一部の機能は有料版のみ**: 一部の機能は、Google Workspace for Educationの有料版のみ利用できます。

### Google Classroomの利用料金

Google Classroomは、無料で利用できます。ただし、一部の機能は、Google Workspace for Educationの有料版のみ利用できます。

### Google Classroomの公式サイト

- <https://edu.google.com/workspace-for-education/classroom/>

